

統計アラカルト

熊本の統計情報 令和元年6月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

30年間で、行動はどう変わった？(スポーツ編 その1 熊本県の状況)

今回は「社会生活基本調査」を使って、昭和の終わりごろと平成の終わりごろとで、どんなスポーツをする人が多いのか、違いを見てみたいと思います。この調査は5年おきの調査のため、比較可能なのは、昭和61年(1986年)と平成28年(2016年)になります。全て熊本県の15歳以上の結果です。

1. スポーツをする人の割合は低下した

過去1年間に何らかのスポーツをした人の割合はどうだったでしょう。

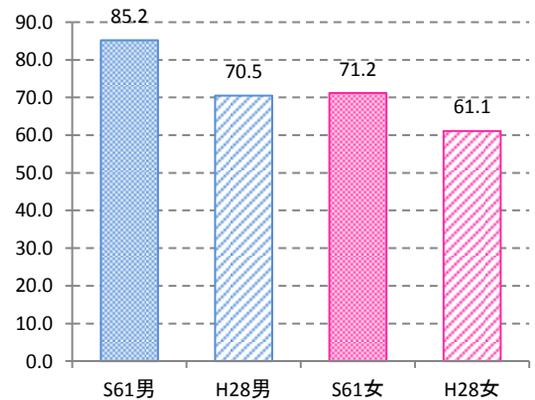
15歳以上の男性では、昭和61年に85.2%だったのが、平成28年には70.5%でした。

15歳以上の女性では、昭和61年に71.2%だったのが、平成28年には61.1%でした。

健康ブームで運動する人の割合は増えているというようなイメージを持たれている方もありますが、昭和61年の方がもっと多かったようです。

高齢化によって、高齢層の割合が増加している(スポーツ人口の割合は相対的に少ない)ことが大きな要因と考えられます。

スポーツ行動者率の比較 (%)



2. 男性のNo.1は、「ソフトボール」から「つり」に

では、15歳以上の男性について、どういふスポーツをする人が多かったの見てみましょう。

S61年は、ソフトボール、つり、水泳、ボウリング、野球の順でした。

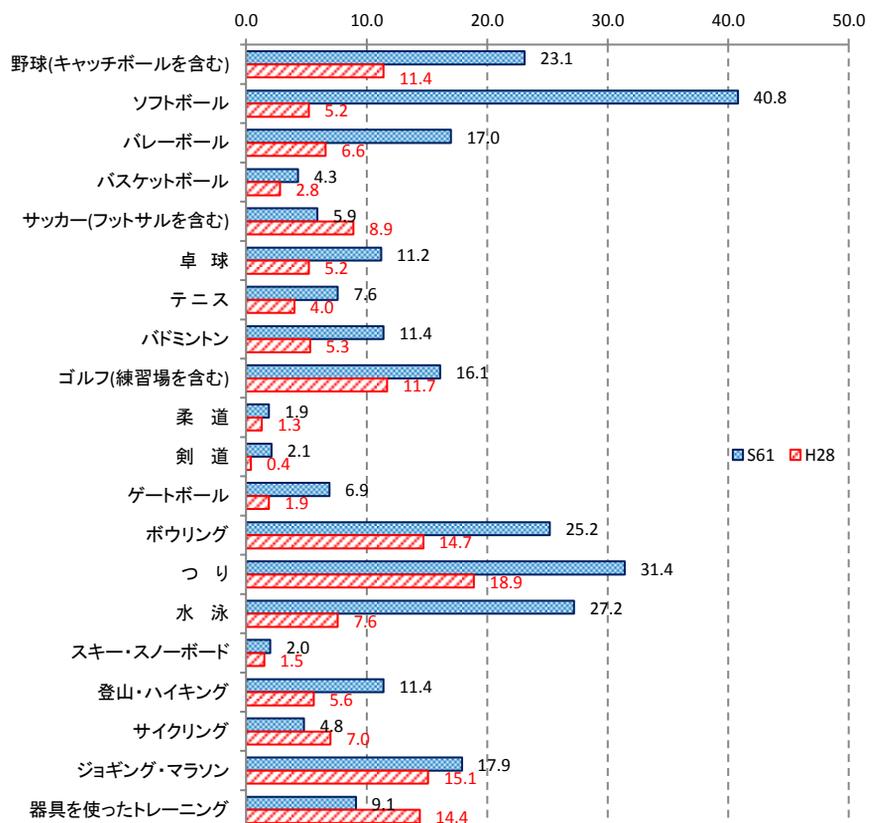
H28年は、つり、ジョギング・マラソン、ボウリング、器具を使ったトレーニング、ゴルフの順となっています。

ほとんどのスポーツで行動者率は低下していますが、S61年の上位5種では、特にソフトボールが8割以上、水泳が7割以上低下しています。野球、つり、ボウリングもそれぞれ低下しました。

逆に増加したのものとしては、器具を使ったトレーニングが1.5倍以上となっているのが目を引きます。また、サッカー、サイクリングも増加しています。

器具を使ったトレーニングは健康志向の高まりから一人でもできる健康法として、サッカーは競技人気の高まりから増加したのではないかと考えられます。

行動者率の比較(男性)(%)



3. 女性のNo. 1は、「バレーボール」から「器具を使ったトレーニング」に

次は15歳以上の女性です。

S61年は、バレーボール、水泳、ボウリング、バドミントン、登山・ハイキングの順でした。

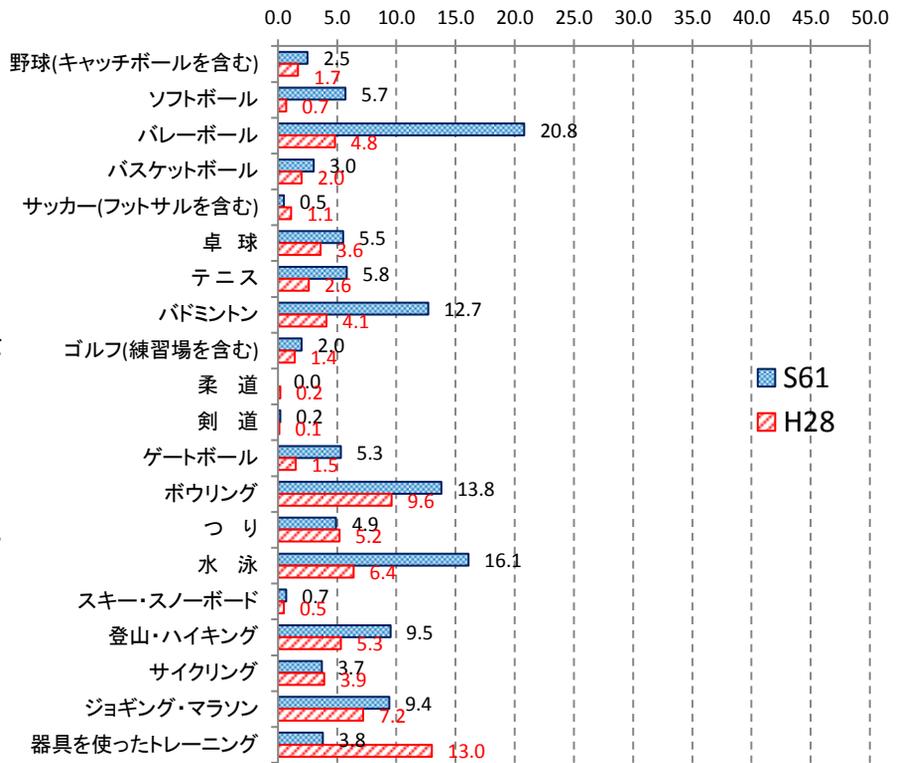
H28年は、器具を使ったトレーニング、ボウリング、ジョギング・マラソン、水泳、登山・ハイキングの順となっています。

ほとんどのスポーツで行動者率は低下していますが、S61年の上位5種では、特にバレーボールが7割以上、バドミントンが6割以上低下しています。水泳、ボウリング、登山・ハイキングも低下しました。

逆に増加したのものとしては、器具を使ったトレーニングが3倍以上となっているのが目を引きます。また、サッカーやつり、サイクリングも増加しています。

男性と同じく、器具を使ったトレーニングは健康法として、サッカーは競技人気の高まりから増加したのではないかと考えられます。

行動者率の比較(女性)(%)



4. 男性と女性を比べてみると

あらためて平成28年のベスト5を男女並べてみると、次のとおりです。

男性:①つり ②ジョギング・マラソン ③ボウリング ④器具を使ったトレーニング ⑤ゴルフ

女性:①器具を使ったトレーニング ②ボウリング ③ジョギング・マラソン ④水泳 ⑤登山・ハイキング

全て仲間と楽しむこともできるし、一人でもできるスポーツです。

ジョギング・マラソン、ボウリング、器具を使ったトレーニングは男女に共通しています。

さらに、この中でボウリングについては昭和61年にも男女それぞれのベスト5に入っていました。

ボウリングには根強い人気があることがうかがえます。

社会生活基本調査とは

目的

生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ること。

調査対象

全国で約7,300調査区内にある世帯のうちから、無作為に選定した約8万8千世帯の10歳以上の世帯員約20万人を対象。

調査事項

(一部抜粋) 学習・研究活動の状況 ボランティア活動の状況 スポーツ活動の状況 趣味・娯楽活動の状況
旅行・行楽の状況 スマートフォン・パソコンなどの使用状況 生活時間の配分など

今回のアラカルトでは、スポーツ活動の状況の一部をご紹介します。

なお、ここでのスポーツは個人の自由時間の中で行うスポーツをいいます。児童・生徒・学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものを除きます。また、ここでは比較可能と思われるスポーツを比較していますが、S61とH28で定義が必ずしも一致しているとは限りません。また、比較できないもの(「散歩」など)は、対象としておりません。

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

今回の「統計アラカルト」は、7月に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp